

## コンビニ利用者が増加、百貨店は減少

### ジーコム

市場調査、マーケティングなどを手掛ける(株)ジーコム(福岡市博多区古門戸町、村上隆英社長)が、自社モニターを対象に実施したコンビニ利用に関する調査で、コンビニを利用する機会が増えたと回答した層の割合が30%と最も高いことがわかった。また、百貨店を利用する機会が減ったと回答した層は4割超と最も多かった。

調査は、福岡県在住20歳以上のモニター男女391人を対象に、インターネットで実施。内容は商業施設の利用機会の変化、コンビニの利用頻度、コン

ビニの利用状況、最も好きなコンビニ、最もよく利用するコンビニの5項目。百貨店の利用が大きく減少する中で、コンビニは利用増加層が3割を超えたほか、コンビニの月間平均利用回数は6〜7回で、未婚の30代男性の利用頻度が高い結果となった。また、最も好きなコンビニ・最もよく利用するコンビニは、「セブンイレブン」、「ローソン」、「ファミリーマート」の順となった。調査レポートは全17ページで、同社では社員派遣による同調査結果レポートの説明も実施している。